広域連携協定締結地域との「新たな連携スタイル」の確立

特別区全国連携プロジェクト主要事業である
〇新たな自治体間連携の創出
〇市長会・町村会との広域的連携の推進
に基づいて、令和２年から十勝地域の町村と台東区・墨田区、京都やましろ地域の市町村と渋谷区が新たな連携のスタイルを確立しました。
それぞれ地域再生法に基づく広域共同計画（地域再生計画）を策定し、
地方創生推進交付金（当時）を活用した関係人口の創出・拡大を目指す広域連携事業を実施しました。
今後も遠隔かつ広域の地域同士の連携・交流を様々なスタイルで工夫しながら進めていきます。

広域連携の新たな試み

関係人口創出プロジェクトを終えて

特別区長会では、北海道町村会、京都府市長会・町村会の賛同をいただき、令和2年度から令和4年度までの3年間、広域連携の新たな試みとして、（公財）特別区協議会と協力して地域間の「関係人口※1」の創出・拡大を目的とした取組みを行いました。北海道十勝地域と台東区・墨田区、京都やましろ地域と渋谷区がそれぞれ地域再生法に基づく広域の地域再生計画を策定し、国のデジタル田園都市国家構想交付金※2を活用して様々な事業を展開しました。

この3年間はコロナ禍の中、当初の予定どおりの展開は叶わなかったものの、オンラインやWEBコンテンツを活用した新しい交流のあり方を模索し様々な結びつきが生まれ、相互理解が深まりました。今回のプロジェクトを通じて、北海道十勝、京都やましろ両地域との間に生まれた結びつきを、今後も育んでまいります。

～大地のタカラ×江戸のチカラ～

北海道十勝地域（16町2村）北海道音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

×東京台東区・墨田区連携

北海道十勝地域における広大な十勝フィールドや質の高い農産品等と台東区・墨田区が有する江戸の食文化との融合を進め、両地域の活力向上、住民や企業の活躍フィールドの拡大、食育の推進のための事業を実施し、様々な賑わいや関係性を醸成することが出来ました。

【主な取組み】
- たいとう・すみだ十勝ウィーク
- エゾ鹿を活用した特産品づくり（十勝エゾ鹿肉活用メニュー、エゾ鹿の革を用いた製品づくり）、デジタル森林浴など

～和文化×多文化～

京都やましろ地域（5市6町1村）京都府宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

×東京しぶや連携

京都府山城地域のお茶に代表される伝統的な「和文化」と渋谷区の先端的なファッション、デザイン等の「多文化」との融合を進め、新たな商品や生活文化を創出することにより、山城地域の再生と東京都渋谷区の魅力の拡大を図ることが出来ました。

【主な取組み】
- お茶の京都大茶会
- お茶の京都・東京しぶや特産品づくり（「究極のやましろお茶セット」、京都やましろ食材フェア、京都やましろ特産品メニュー）、オンライン茶文化体験ツアーなど

※1：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のこと　※2：旧地方創生推進交付金

※全国連携 NEWS vol.8 から抜粋・各交付金名称は当時のもの